

令和7年度  
業務概要

新潟県中越家畜保健衛生所

〒949-7413

新潟県魚沼市堀之内 2914-2

電話 (025)794-2121

FAX (025)794-5400

E-mail [ngt066040@pref.niigata.lg.jp](mailto:ngt066040@pref.niigata.lg.jp)



# 目 次

## 中越家畜保健衛生所の概要

I 沿革	1
II 施設	1
III 組織及び職員	1
IV 管内の状況	2
1 所管区域	
2 管内の畜産関係施設	
3 畜産の概要	

## 令和7年度家畜衛生関係事業

I 令和7年度事業推進方針	4
1 基本的な考え方	
2 主要推進事項	
3 具体的な重点指導事項	
II 令和7年度事業計画	5
1 家畜伝染病予防事業	
2 家畜衛生の推進	
3 放牧衛生対策	
4 動物薬事、獣医事	
5 家畜改良増殖対策事業	
6 一般畜産指導等	

## 令和6年度事業成績

I	家畜伝染病予防事業	9
	1 検査等	
	2 牛の検査成績	
	3 豚の検査成績	
	4 鶏の検査成績	
	5 病性鑑定実施状況	
II	家畜衛生の推進	14
	1 監視体制の整備	
	2 家畜衛生対策による生産性向上の推進	
	3 畜産物の安全性向上	
III	畜産物の安全性確保	17
IV	特定家畜伝染病危機管理対策強化事業	17
V	放牧衛生対策及び動物薬事、獣医事	17
	1 放牧衛生対策	
	2 動物薬事指導対策	
VI	家畜改良関係	18
	1 家畜人工授精関係	
	2 にいがた和牛レベルアップ推進事業	
	3 種畜検査	
VII	一般畜産指導	19
	1 経営技術高度診断指導	
	2 地域養豚生産性向上対策	
	3 家畜共進会出品家畜等指導	
	4 農業共済組合事業に対する協力及び家畜衛生指導	
VIII	調査研究	20

## 参考資料

家畜衛生関係手数料一覧	21
管内家畜飼養状況(令和7年2月1日現在)	22

# 中越家畜保健衛生所の概要

## I 沿革

昭和 24 年 (1949 年)	新潟県条例により「堀之内家畜衛生指導所」を堀之内町大字堀之内与五郎新田に、「柏崎家畜衛生指導所」を刈羽郡荒浜町に設置
昭和 25 年 (1950 年)	家畜保健衛生所法の制定に伴い、「堀之内家畜保健衛生所」、「柏崎家畜保健衛生所」に名称を変更
昭和 27 年 (1952 年)	新潟県家畜保健衛生所設置条例の改正により、各郡にそれぞれ三島、古志、刈羽、北魚沼、南魚沼及び中魚沼家畜保健衛生所とする。
昭和 42 年 (1967 年)	家畜保健衛生所の広域再編整備のため県条例の改正により、三島、古志及び刈羽家畜保健衛生所を統合して「中越家畜保健衛生所」とし、北魚沼、南魚沼及び中魚沼を統合し「魚沼家畜保健衛生所」とする。
平成元年 (1989 年)	新潟県家畜保健衛生所設置条例の改正により、中越及び魚沼家畜保健衛生所を統合し「中越家畜保健衛生所」と改称。

## II 施設

### 1 用地 (2,155.35 m<sup>2</sup>)

事務所用地 (魚沼市堀之内地内)	1,823.39 m <sup>2</sup>
解剖室兼焼却炉用地 (魚沼市徳田地内)	331.96 m <sup>2</sup>

### 2 建物 (540.95 m<sup>2</sup>)

本 館 鉄筋コンクリート	159.75 m <sup>2</sup>
実 験 棟 鉄筋コンクリート	305.78 m <sup>2</sup>
車 庫 鉄骨建	29.16 m <sup>2</sup>
解剖施設 鉄筋コンクリート	46.26 m <sup>2</sup>

## III 組織及び職員

所長	課	主な事務分担	職 名	氏 名
佐藤 義政	企画指導課	総 括	課長	(次長兼任)
次長 太田 洋一		・予算、文書、その他庶務全般	主査	佐藤 彩子
		・家畜の衛生対策、企画調整	主任	今井 杏子
		・動物薬事、獣医事 ・家畜衛生情報、統計 ・家畜の飼養衛生管理指導	主任 主任 主任 臨時的任用職員	漆原 麻純 植木 将之 櫻井 裕子
	防疫課	・家畜の伝染病予防 ・家畜の病性鑑定 ・放牧衛生 ・定例報告、資材管理	課長 副参事 主査 主任	篠川 温 鈴木 一徳 佐藤 香代子 市川 雄紀

## IV 管内の状況

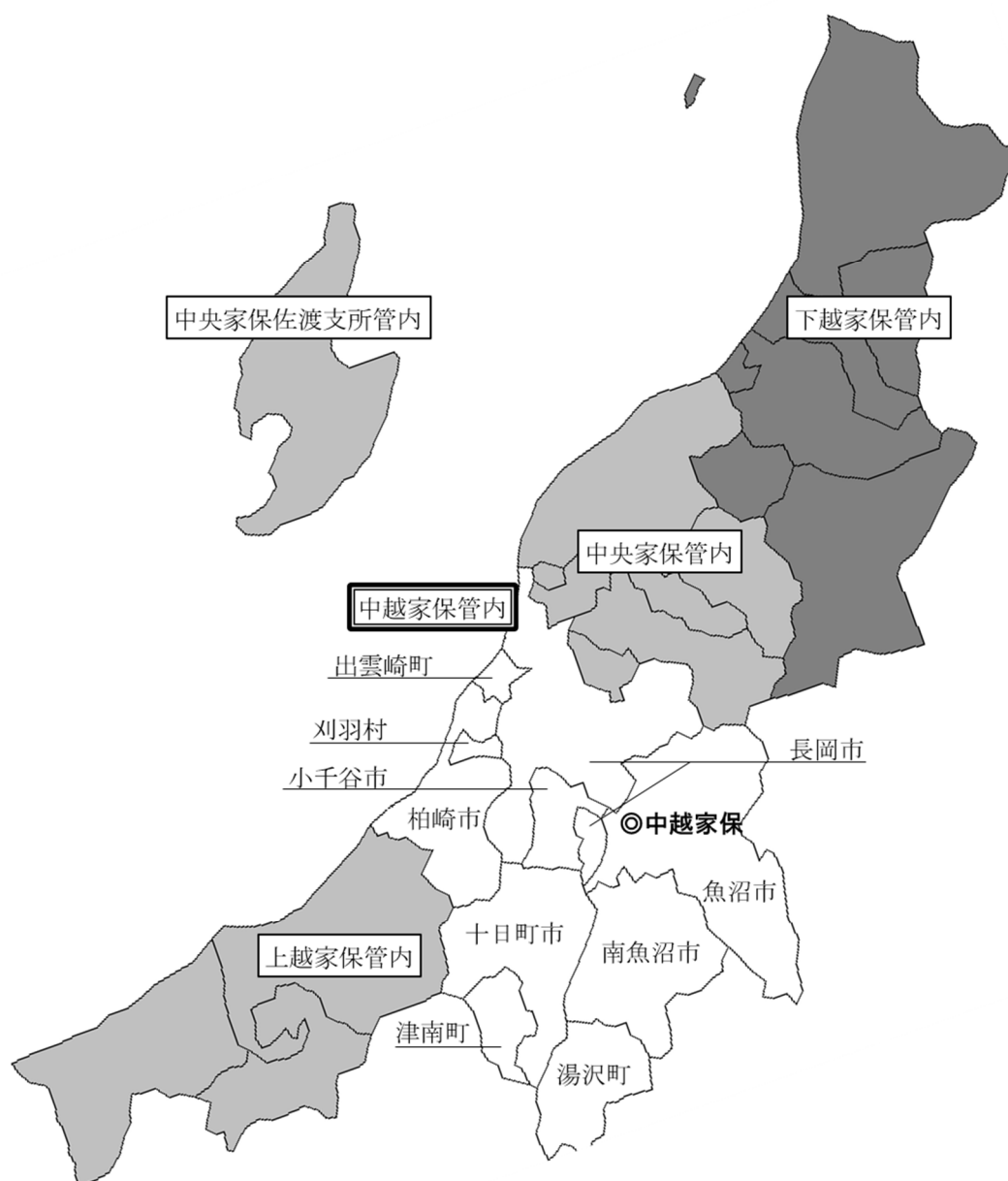
### 1 所管区域 (6市3町1村…面積 4208.13km<sup>2</sup>)

長岡市・小千谷市・柏崎市

魚沼市・南魚沼市・十日町市

中魚沼郡津南町・南魚沼郡湯沢町・三島郡出雲崎町・刈羽郡刈羽村

中越家畜保健衛生所管内図



## 2 管内の畜産関係施設

施設名		数	施設名		数
県 機 関	地域振興局	5	加工施 設	牛乳加工工場	2
	乳用牛育成牧場	1		GPセンター（鶏卵選別包装場）	2
	食肉衛生検査センター	1	と畜場		1
団 体	総合農業協同組合	3	化製場		1
	専門農協等	1	動物用 医薬品 店舗販 売業等	医療機器修理業	3
	農業共済組合(支所)	2		動物用医薬品店舗販売業	2
	中央家畜市場	1		動物用医薬品卸売販売業	2
家 畜 診 療 所	個人開業	6		動物用医薬品特例店舗販売業	47
	団体等	4		高度管理医療機器等販売・賃貸業	3
			管理医療機器等販売・賃貸業	2	

## 3 畜産の概要

当所の管内は新潟県のほぼ中央部であり、福島県、群馬県及び長野県と接し、長岡市及び柏崎市に平野部がある他はほとんど中山間地に位置している。管内は広域で長岡、柏崎、魚沼、南魚沼、十日町の5地域振興局に及ぶ。

乳用牛は湯沢町と刈羽村を除く市町で、肉用牛は主に長岡、柏崎、南魚沼、十日町地域で飼養されている。豚は主に長岡、魚沼、十日町地域で飼養されており、中小規模の農場が主体となっている。

鶏は主に柏崎地域で採卵鶏、肉用鶏及び種鶏と多岐に渡って飼養されている。各畜種の戸数・頭数とも年々微減する傾向がある。

関連施設では、津南町に県営の乳用牛育成放牧場、長岡市に民営の食肉センター、家畜市場及び死亡獣畜の化製処理施設がある。

# 令和7年度家畜衛生関係事業

## I 事業推進方針

### 1 基本的な考え方

畜産経営の持続的な発展に向けて、家畜伝染病に対する発生予防と、まん延防止体制を強化するとともに、生産性の向上やコスト低減を進めることにより、収益性の高い畜産経営体の育成に努める。

### 2 主要推進事項

#### (1) 家畜伝染病の発生予防とまん延防止体制の強化

家畜伝染病の発生予防のため飼養者に対して飼養衛生管理基準の遵守を徹底する。

飼養豚への豚熱ワクチン接種とその効果確認を行うとともに、野生イノシシの豚熱・アフリカ豚熱の検査を実施する。

防疫計画の再点検、関係機関等との連携・協力並びに防疫訓練等を実施し、まん延防止体制の強化を図る。

#### (2) 畜産経営の生産性向上及びコスト低減

生産性を阻害する疾病について各農場の検査等を実施し、その結果に基づく技術指導により衛生対策の改善・高度化やコスト低減を図る。

### 3 具体的な重点指導事項

- ・ 乳房炎防除対策等による乳質改善指導
- ・ 牛伝染性リンパ腫の浸潤状況調査と清浄化対策
- ・ 豚繁殖呼吸障害症候群（PRRS）清浄地域における清浄性の維持と事故率低減対策
- ・ 妙法育成放牧場の衛生対策（ピロプラズマ病、牛伝染性リンパ腫等）
- ・ 肥育期間中の血中ビタミンA濃度測定による「にいがた和牛」の飼養管理指導
- ・ 受精卵移植技術を活用した「にいがた和牛」の生産振興

## II 令和7年度事業計画

### 1 家畜伝染病予防事業

家畜伝染病予防法に基づき、監視伝染病の発生予防とまん延防止のための検査・調査を実施する。鳥インフルエンザ、口蹄疫、豚熱等の発生時に迅速かつ的確な防疫対策が講じられるよう家畜飼養者をはじめ獣医師、市町村、関係機関等と連携し家畜防疫体制の強化を図る。

区分	事業名	R7 計画	R6 計画	比較 増減	事業内容	
牛	牛海綿状脳症(BSE)				月齢問わず特定症状牛、BSEが否定できない症状を呈する牛	
	ブルセラ症				・病鑑牛(流死産)についてブルセラ症の検査	
	ヨーネ病	200	250	△ 50	・県外から導入した搾乳目的の牛及び肉用繁殖牛のうち過去に県内で検査したことのない牛 ・H31、R1年生まれの乳用牛、肉用繁殖牛	
	牛伝染性リンパ腫	740	910	△ 170	・妙法育成牧場の清浄性確認、上牧前検査 ・清浄化取り組み農場の対策の検証	
	牛ウイルス性下痢	34	37	△ 3	酪農場のバルク乳による清浄性確認検査	
	牛サルモネラ症	130	130		酪農場(各2～5頭)、肉用牛(グリーンビーフ)	
	アカバネ病 (吸血昆虫媒介疾病の定点検査)	48	48		4農場(各3頭)×4回 (6月下旬、8月中旬、9月下旬、11月中旬) 新潟県の対象疾病はアカバネ病のみ(R3～)	
	ピロプラズマ症	130	170	△ 40	妙法上牧牛(中間30、終牧100、Ht値の低い牛)	
	牛伝染性疾病検査	2,600	3,000	△ 400	口蹄疫、BSEなど重要疾病を念頭に、臨床検査と衛生指導を実施	
豚	豚熱	ワクチン接種	81,000	88,880	△ 7880	管内の飼養豚へのワクチン接種
		免疫付与状況確認	1,030	1,030		ワクチン接種豚の抗体検査
	オーエスキー病 (全国サーベイ分)	210	210		15農場×14頭	
	豚繁殖・呼吸障害症候群 (PRRS)	300	88	212	サーベイランス90頭、陰性農場168頭(16戸×8頭×2回-88)、陽性農場42頭 清浄農場及び浸潤農場の状況確認検査	
豚伝染性疾病検査	24,000	24,000		口蹄疫、豚熱など重要疾病を念頭に、臨床検査と衛生指導を実施。		
鶏	ニューカッスル病(ND)	20	100	△ 80	抗体保有状況を把握し、適切なワクチン接種を指導	
	鳥インフルエンザ	定点	120	360	△ 240	3農場×10羽×4か月(6～9月)
		強化	20	30	△ 10	2農場×10羽(4～5月、10～3月)
鶏伝染性疾病検査	45,000	52,000	△ 7000	鳥インフルエンザ、ニューカッスル病など重要疾病を念頭に、臨床検査と衛生指導を実施		
馬	馬伝染性疾病検査	10	10			
羊	羊伝染性疾病検査	6	6		伝達性海綿状脳症などの臨床検査と衛生指導	
蜜蜂	腐蛆病	340	440	△ 100	県外転飼;5件280群、 定飼(長岡、柏崎);10件60群	
病性鑑定		50	50		疾病発生時に迅速・的確に病性を診断し、まん延防止を図り、効果的な衛生対策を指導	

## 2 家畜衛生の推進

### (1) 監視体制の整備・強化

家畜の伝染性疾病の監視体制を強化し、事前対応型の防疫体制を構築する。

#### ア 家畜衛生対策推進会議の開催

家畜衛生対策の諸事業を円滑かつ効率的に実施するため、推進会議を開催する。

(令和7年5月22日開催)

#### イ 家畜衛生関連情報の整備

##### (ア) 情報収集

農場巡回により、各種調査及び情報の収集・提供を行う

対象農場(88戸)：酪農 29戸、肉用牛 32戸、養豚 26戸、採卵鶏 8戸

肉用鶏 4戸、種鶏 3戸 (肉用鶏には、にいがた地鶏含む)

##### (イ) 広報の発行

「家畜衛生だより」による情報(疾病発生状況、飼養衛生管理等)の提供

発行部数：150部(農場、市町村、関係機関)、3回/年

##### (ウ) 防疫マップの整備

家畜伝染病発生時に円滑な防疫対応が取れるよう、農家の位置を記入した防疫マップを作成し、随時更新する。

### (2) 家畜の伝染性疾病の発生予防

#### ア 飼養衛生管理水準の向上

家畜の所有者の飼養衛生管理の改善・向上に資する家畜衛生情報の周知や広報、飼養衛生管理の改善・向上に必要な知識や手法の普及啓発を行うための現地指導等を行う。

#### イ 発生予防の体制整備

継続的・断続的に発生が見られる疾病について、清浄性の実現又は維持を図るために必要な検査等を実施し、地域の実情に即した衛生対策を検討、実施する。

対象農場：牛 4戸、豚 3戸、採卵鶏 2戸

### (3) 家畜の伝染性疾病のまん延防止

特定家畜伝染病の発生に備えるために地域振興局単位で防疫訓練を開催し、作業リーダーを育成するとともに、講習会や広報活動等により、作業従事者や家畜の所有者等に対し正しい知識の普及を図る。

### (4) 畜産物の安全性向上

#### ア 動物用医薬品の危機管理

動物用医薬品の使用実態及び品質確保、薬剤残留、薬剤耐性菌に関する情報を収集し、医薬品の使用に起因する危害発生を防止する。

薬剤感受性検査：対象戸数：4戸 対象菌：サルモネラ、ブドウ球菌

使用実態調査：対象戸数 10戸

#### イ 畜産安心ブランド生産農場の検査・指導

(公社)新潟県畜産協会が認定している「畜産安心ブランド生産農場」に対して定期的に衛生検査等を実施する。

対象	戸数	検査項目など
酪農	8	サルモネラ、病原性大腸菌
肉用牛	14	サルモネラ、病原性大腸菌
養豚	15	給与飼料の抗菌性物質
採卵鶏	2	サルモネラ、病原性大腸菌
肉用鶏	3	サルモネラ、カンピロバクター

### 3 放牧衛生対策

妙法育成牧場の放牧牛について、上牧前の牛伝染性リンパ腫ウイルス検査による感染確認と定期検査等による清浄性の維持を図るとともに、ピロプラズマ症をはじめとする各種疾病対策を講じる。

### 4 動物薬事、獣医事

#### (1) 動物薬事指導

ア 獣医師等の動物用医薬品使用者と販売業者に対して動物用医薬品の使用と流通が適正に行われるよう監視・指導を行う。

立入対象店舗・営業所

- ・動物用医薬品店舗販売業2件 ・動物用医薬品卸売販売業2件
- ・動物用医薬品特例店舗販売業48件 ・動物用高度管理医療機器販売・賃貸業3件
- ・動物用管理医療機器等販売・賃貸業2件

イ 安全な畜産物の生産を確保するため、家畜の飼養者に対し、動物用医薬品の適正使用について啓発指導を行う。

ウ 動物用医薬品販売業の許可等事務を行う。

#### (2) 獣医事指導

獣医師法及び獣医療法に基づき、飼育動物診療施設及び獣医師に対する指導を行う。

対象飼育動物診療施設：38施設

## 5 家畜改良増殖対策事業

### (1) にいがた和牛レベルアップ推進事業（受精卵活用型生産拡大対策）

遺伝的能力の高い和牛子牛の増産を目的とした本事業に対し、生産者、畜産研究センター、獣医師との連絡調整、技術指導及び採卵凍結処理のサポートを行う。

### (2) 家畜人工授精関連

家畜の生産技術の向上を図るため技術指導及び家畜人工授精師免許証の交付等を行う。

### (3) 家畜人工授精所関連

家畜改良増殖法に基づく施設立入検査及び家畜人工授精所開設許可証の交付等を行う。

### (4) 種畜検査

家畜改良増殖法に基づく種畜の衛生検査等を実施する。

対象施設等：種雄豚2戸

## 6 一般畜産指導等

### (1) 畜産コンサルタント支援

(公社)新潟県畜産協会が、県の委託を受けて実施する経営診断に協力し、受診対象農家に対して助言指導を行う。

### (2) 家畜共進会

地域畜産の健全な発展を図るために開催される各種共進会等に参加し、審査に協力するとともに衛生管理指導を行う。

### (3) 農業共済事業への協力

農業共済組合が実施する家畜衛生関係事業に対して技術協力を行う。

# 令和6年度事業成績

## I 家畜伝染病予防事業

### 1 検査等

区分	病名(検査法等)	実施件数	陽性	事業内容	
牛	牛海綿状脳症(抗原)	-		管内死亡牛3頭を検査(中央家保)	
	ブルセラ症(抗体)	3		流産サーベイランス:病性鑑定3頭	
	ヨーネ病(抗体)	213	1	陽性1頭はPCR検査で陰性を確認	
	牛伝染性リンパ腫	予防事業(抗体)	792	38	農場における対策の検証、対策の改善提案 上牧前及び上牧後の清浄性確認
		協会事業(抗体)	275	43	畜産協会の清浄化推進モデル事業における取り組み:5農場
	牛ウイルス性下痢	バルク乳(PCR)	31		バルク乳によるスクリーニング検査:31酪農場
		血清(PCR)	48		上牧前検査、種畜検査、病性鑑定
	牛サルモネラ症(分離)	135		全頭陰性、清浄性を確認	
	アカバネ病(抗体)	48		4市町(4農場)各3頭×年4回:全例陰性	
	ピロプラズマ症(塗抹)	172		放牧中の感染状況確認:全例陰性	
牛伝染性疾病検査(臨床)	4,069		家畜伝染病の所見を認めず		
豚	豚熱	ワクチン接種(注射)	24,834		子豚への定期接種、繁殖候補豚への補強接種
		免疫付与状況確認(抗体)	978	833	ワクチン接種による免疫付与状況を確認
	オーエスキー病	全国サーベイ(抗体)	210		全頭陰性、清浄性を確認
		その他(抗体)	46		
	豚繁殖・呼吸障害症候群(PRRS)	予防事業(抗体)	88	0	陰性農場の清浄性確認
		その他(抗体)	357	8	陽性農場での動態把握、対策支援
豚伝染性疾病検査(臨床)	24,834		家畜伝染病の所見を認めず		
鶏	鳥インフルエンザ	定点(抗体等)	190		4～10月は3農場で月10羽ずつ検査。(県内農場で、8月に豚熱、10月にHPAIが発生したため、8月は1農場、10月は1農場で検査できず。)R6年10月31日の指針の改正により、11月以降は検査なし。
		強化(抗体)	20		2農場(抗体):4～5月、10～3月
	ニューカッスル病(抗体)	120	116	ワクチン接種による良好な抗体保有状況を確認	
	鶏伝染性疾病検査(臨床)	43,010		家畜伝染病の所見を認めず	
馬	馬伝染性疾病検査(臨床)	7		家畜伝染病の所見を認めず	
羊	羊伝染性疾病検査(臨床)	12		家畜伝染病の所見を認めず	
蜜蜂	腐蛆病(臨床等)	303		転飼:5件288群 定飼:3件15群(十日町市、津南町)	
病性鑑定(病性診断)	牛	24件		牛伝染性リンパ腫、牛コロナウイルス病、牛RSウイルス症、ピロプラズマ症、牛クロストリジウム・パープリンゲンス感染症、牛マイコプラズマ肺炎等	
	豚	1件		サルモネラ症	
	鶏	1件		封入体肝炎	
	その他	8件		アルパカの敗血症、アルパカの膀胱破裂等	

## 2 牛の検査成績

### (1) ヨーネ病抗体検査

市町	乳用牛		肉用牛	
	戸数	頭数	戸数	頭数
長岡市	11	55	3	7
柏崎市	1	10	1	1
小千谷市	2	8		
十日町市	1	3	2	5
魚沼市	9	78		
南魚沼市	3	23	1	7
出雲崎町	1	1		
津南町	3	13	2	2
合計	31	191	9	22

検査結果：全頭陰性

### (2) 牛伝染性リンパ腫抗体検査成績

区分	頭数			摘要
	検査	陽性	陽性率	
農場の浸潤状況調査	545	72	13.2%	農場における衛生対策の検証
上牧前検査	29	3	10.3%	県内牧場への上牧前検査
上牧中検査	487	2	0.4%	陰性牧場での清浄性確認
その他	6	3	50.0%	病性鑑定
合計	1067	80		

### (3) アカバネ病抗体検査成績

検査対象：4市町(長岡市、魚沼市、柏崎市、津南町) 4農場各3頭について実施

6月	8月	9月	11月	計
0/12 <sup>※1</sup>	0/12	0/12	0/12	0/48

※1 「陽性頭数/検査頭数」で表示

検査結果：期間中、野外ウイルスの動きは認められなかった。

### (4) 牛ウイルス性下痢 (BVD) の PCR 検査成績

検査材料	農場数			頭数			摘要
	検査	陽性	陽性率	検査	陽性	陽性率	
バルク乳	31	0	0.0%	731	0	0.0%	全酪農場を対象に実施
血清	10	0	0.0%	48	0	0.0%	上牧前検査、預託前検査

検査結果：全頭陰性

### 3 豚の検査成績

#### (1) 豚熱 (CSF) 検査成績

##### ア 抗体検査 (血清)

検査時期	区分	検査戸数	検査頭数	陽性頭数	陽性率
前期 (R5.4～R5.9月)	繁殖豚	21	247	224	91%
	肥育豚	20	336	283	84%
後期 (R5.10～R6.3月)	繁殖豚	22	219	177	81%
	肥育豚	21	176	149	85%
合計			978	833	85%

検査結果：ワクチン免疫付与状況を確認した結果、陽性率が繁殖豚で減少傾向にあり、肥育豚で増加傾向にある。母豚から子豚への移行抗体が低いことが推察されるため、ワクチン接種日齢の前倒しが必要と考えられた。

##### イ 抗原検査 (PCR)

区分	PCR		ELISA		実施市町	陽性内訳
	検査	陽性	検査	陽性		
病性鑑定豚	-	-	-	-	-	-
野生いのしし	169	8	149	29	長岡市、柏崎市、出雲崎町、小千谷市、南魚沼市、十日町市、津南町	PCR陽性： 長岡市(1)、柏崎市(1)、十日町市(5)、津南町(1)

検査結果：飼養豚の病性鑑定は実施なし。

野生いのししは、管内7市町村169頭検査し、柏崎市の1頭、長岡市の1頭、津南町の1頭、十日町市の3頭でPCR陽性を確認された。津南町は初の陽性確認  
全県では管内の他に7市（村上市、胎内市、阿賀野市、新発田市、加茂市、上越市、妙高市）12頭でPCR陽性が確認された。

#### (2) オーエスキー病抗体検査成績

農場数	頭数	地域
17	256	十日町市、魚沼市、津南町

検査結果：全例陰性で清浄性を確認。

#### (3) 豚繁殖・呼吸障害症候群 (PRRS)

農場数		頭数		地域
検査	陽性	検査	陽性	
22	2	445	8	長岡市、十日町市、魚沼市、津南町、出雲崎町

検査結果：陰性農場では清浄性を維持。

#### 4 鶏の検査成績

##### (1) 鳥インフルエンザ

定点モニタリング				強化モニタリング		
戸数	回数	検査羽数	結果	戸数	検査羽数	結果
3	6~7	190	全例陰性	2	20	全例陰性

- ・ 定点モニタリングは3農場について4~10月に抗体検査とウイルス分離を実施
- ・ 強化モニタリングは4~5月、10~3月に2農場の抗体検査を実施

##### (2) ニューカッスル病抗体検査成績

羽数	<5	5	10	20	40	80	160	320	640	GM
120	4	11	17	19	15	25	18	7	4	39.1

検査結果：肉用鶏で低い値の個体がみられた。

## 5 病性鑑定実施状況

(1) 法定伝染病 なし

(2) 届出伝染病

畜種	病名	件数	頭数	死亡	発生市町村
乳用牛	牛伝染性リンパ腫	7	7	0	長岡市(と畜場5、病鑑2)
豚	豚丹毒	6	6	0	長岡市(と畜場)

(3) 伝染性疾病

畜種	病名	件数	頭数	死亡	検査	発生市町村
乳用牛	牛コロナウイルス病	1	1	0	6	柏崎市
	牛ロタウイルス病	2	3	0	3	津南町
	サルモネラ症	1	6	4	6	柏崎市
	牛クロストリジウム・パーフリンゲンス感染症	1	1	1	1	長岡市
	牛コクシジウム症	1	1	0	1	津南町
肉用牛	牛RSウイルス病	1	1	0	1	十日町市
	牛コロナウイルス病	1	2	0	4	長岡市
	牛トロウイルスによる下痢症	1	4	0	4	長岡市
	牛クロストリジウム・パーフリンゲンス感染症	1	1	1	1	長岡市
	牛マイコプラズマ肺炎	2	3	1	3	長岡市
	牛パスツレラ症	1	1	0	1	長岡市
	牛マンヘミア症	1	1	0	1	長岡市
	ピロプラズマ症(牛タイレリア症)	1	1	1	1	長岡市
豚	サルモネラ症	1	10	0	3	長岡市
鶏	鶏封人体肝炎	10	10	10	10	柏崎市

(4) その他

畜種	病名	件数	頭数	死亡	検査	発生市町村
乳用牛	壊死性線維索性肺炎	1	1	1	1	津南町
	胎盤炎による流産	1	1	0	1	津南町
	腹膜炎	1	1	1	1	魚沼市
	異常産(感染症否定)	1	1	0	1	津南町
	下痢症(原因不明)	1	2	0	2	津南町
肉用牛	腸閉塞	1	1	1	1	長岡市
アルバカ	敗血症	2	2	2	2	長岡市
	膀胱破裂	1	1	1	1	長岡市

## II 家畜衛生の推進

### 1 監視体制の整備

家畜伝染病の発生予防及びまん延防止、並びに安心・安全な畜産物を供給するため、「飼養衛生管理基準」の遵守指導及び「特定家畜伝染病防疫指針」の周知を徹底し、地域に対応した家畜衛生対策の推進を図った。

#### (1) 推進会議の開催

地域における家畜衛生対策を効率的に推進するために、検討、協議を実施した。

区 分	開催回数	対 象
家畜衛生対策推進会議	1回	国機関、市町村、畜産関係団体、県機関

※ 開催日：令和6年5月25日 開催場所：魚沼市中央公民館中ホール 参集者：26名

#### (2) 監視・危機管理体制整備

##### ア 防疫マップの整備

監視・危機管理体制を強化するため、家畜関連情報を防疫マップに蓄積、更新し、効率的な防疫体制の構築に努めた。

##### イ 広報の発行

「家畜衛生だより」を5月、11月及び2月の3回発行し、家畜飼養者及び畜産関係者に配布するとともに、国内外の家畜伝染病の発生状況等をFAXやメール等により通知した。

##### ○ 家畜衛生だよりの内容

号数	発行月	主な内容
201号	令和6年5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度の重点実施事項</li> <li>・今年も早期の暑熱対策で暑い夏に備えましょう</li> <li>・最近の家畜の伝染病発生状況</li> </ul>
202号	令和6年11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高病原性鳥インフルエンザ-対策の徹底と継続が必要-</li> <li>・国内でランピースキン病が発生 -国内初確認-</li> <li>・冬季における消毒薬の留意点</li> <li>・飼養衛生管理システムの運用が始まりました</li> </ul>
203号	令和7年2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高病原性鳥インフルエンザ -まだまだ警戒が必要-</li> <li>・豚熱</li> <li>・家畜の伝染病発生状況 -令和6年 新潟県-</li> <li>・早期にハエ対策を実施しましょう</li> </ul>

##### ウ 家畜衛生関連情報の整備

##### 収集農場数

	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏	肉用鶏	種鶏
実農場数	35	33	27	9	4	4
延農場数	149	49	80	25	8	4
平均回数	4.3	1.5	3.0	2.8	2.0	1.0

情報提供

	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏	肉用鶏	種鶏	合計
巡回資料 (部数)	9	6	4	5	5	5	34
FAX・郵送 (回数)	6	6	25	56	56	56	205

(3) 家畜伝染病防疫対応強化

家畜伝染病の発生予防及びまん延防止、並びに安全な畜産物を供給するため、「飼養衛生管理基準」の遵守状況調査及び指導を行った。

	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏	肉用鶏	種鶏	合計
調査農場数	35	33	27	9	4	4	112

2 家畜衛生対策による生産性向上の推進

(1) 慢性疾病等生産性を阻害する疾病の低減

家畜の損耗防止と生産性の向上を図るため、生産現場で問題となっている疾病について必要な調査、検査、疫学調査を実施した。

畜種	実農場数	巡回回数	検査回数	検査検体数	調査疾病名
牛	6	30	30	106	乳房炎、ビタミンA欠乏症、牛コクシジウム病
豚	12	12	12	290	豚繁殖・呼吸障害症候群、豚胸膜肺炎等

3 畜産物の安全性向上

(1) 鶏卵衛生管理体制の整備

鶏卵の生産段階における衛生的な管理体制を確立するため、採卵鶏3農場を対象に、サルモネラ汚染に係る調査、検査を行った。

実農場数	検査回数	検査検体数	陽性数	分離菌内訳
2	5	49	1	<i>Salmonella</i> Bareilly

(2) 動物用医薬品の危機管理

ア 薬剤耐性菌の発現状況調査

病性鑑定事例の病畜由来材料から分離されたサルモネラについて薬剤感受性試験(12薬剤)を実施し、薬剤耐性について調査した。

畜種	農場数	検査数	耐性を認めた薬剤数
牛	1	2	1
豚	1	2	4

イ 動物用医薬品使用実態調査

動物用医薬品の畜産物への残留防止を図るため、畜産農場に対し動物用医薬品の使用実態調査と適正使用について指導を実施した。

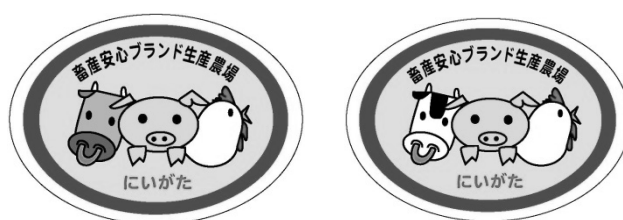
調査・指導数：10戸

イ 畜産安心ブランド生産農場の検査・指導

(公社)新潟県畜産協会が認定した「畜産安心ブランド生産農場」の衛生レベルの維持・向上を図った。

乳用牛・・・ クリーンミルク生産農場  
 肉用牛・・・ クリーンビーフ生産農場  
 豚・・・ クリーンポーク生産農場  
 採卵鶏・・・ クリーンエッグ生産農場  
 肉用鶏・・・ クリーンチキン生産農場

畜産安心ブランド生産農場 認定マーク



管内の畜産安心ブランド生産農場 (令和6年4月1日現在)

畜種	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏	肉用鶏	計
認定農場数	10	16	15	2	4	47

調査・検査内容

認定農場の衛生レベル維持のため、記録簿の確認と危害因子(食中毒菌、薬物残留)の検査を実施し、その成績を基に指導を実施した。

畜種	対象戸数	指導戸数	検査・調査内容
乳用牛	10	10	生乳検査成績の監視、記録簿の確認、食中毒菌(大腸菌 O157・O26、サルモネラ)検査
肉用牛	16	16	記録簿の確認 食中毒菌(大腸菌 O157・O26、サルモネラ)検査
豚	15	15	記録簿の確認 食肉衛生検査を活用した衛生指導
採卵鶏	2	2	記録簿の確認 食中毒菌(サルモネラ)検査
肉用鶏	3	2	記録簿の確認 食中毒菌(カンピロバクター)検査

### Ⅲ 畜産物の安全性確保

安全な畜産物の生産を確保するため、巡回指導により使用基準が定められている飼料の適正使用を指導するとともに、畜産物における飼料添加物の残留検査及び飼料の安全性監視のための調査分析を実施した。

畜種	検査農場数	検査材料	検査成績 スクリーニングキット (簡易法)
採卵鶏	2	鶏卵(12個)	陰性
肉用鶏	2	筋肉(2検体)	陰性
豚	5	飼料(15検体)	陰性

### Ⅳ 特定家畜伝染病危機管理対策強化事業

特定家畜伝染病（口蹄疫、豚熱、鳥インフルエンザ等）の発生時に備え、地域振興局ごとに防疫訓練を実施した。

<防疫訓練実施状況>

振興局	開催日	内容	参加者
長岡	12月9日	情報伝達訓練、現地対策本部開催訓練	33名：振興局、家保
柏崎	12月12日	鳥インフルエンザ発生時対応説明、 情報伝達訓練	41名：振興局、家保
南魚沼	10月1日	防護服着脱訓練、 豚熱発生時対応説明	37名：振興局、家保
魚沼	12月16日	豚熱発生時対応説明 マニュアル説明	37名：振興局、家保
十日町	10月25日	豚熱発生時対応説明 マニュアル説明	32名：十日町市、振興局、 家保

### Ⅴ 放牧衛生対策及び動物薬事、獣医事

#### 1 放牧衛生対策

妙法育成牧場の放牧牛について定期的な衛生検査並びに健康管理指導を行い、事故防止と放牧効果の増大に努めた。

利用面積(ha)	上牧頭数	放牧期間	放牧日数	ピロプラズマ原虫検出率
169.9	148	5/23～11/8	169	0%

## 2 動物薬事、獣医事

### (1) 動物薬事指導

「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」に基づく動物用医薬品販売業等の許可事務及び医薬品の適正な流通、使用について監視、指導を実施した。

販売業の区分	販売業者数		立入箇所数
	期首	期末	
動物用医療機器修理業	3	3	0
動物用医薬品店舗販売業	2	2	1
動物用医薬品卸売販売業	3	2	0
動物用医薬品特例店舗販売業	49	48	18
動物用高度医療機器等販売・貸与業	3	3	0
動物用管理医療機器等販売・貸与業	3	2	0

### (2) 飼育動物診療施設への立入検査

獣医療法等に基づき、飼育動物診療施設への立入を行い、施設の整備状況、動物用医薬品の管理及びエックス線装置の使用状況について調査した。

診療施設数		立入施設数
期首	期末	
39	39	14

## VI 家畜改良関係

### 1 家畜人工授精関係

#### (1) 家畜人工授精師

家畜改良増殖法に基づき、家畜人工授精師の動向調査を実施した。

#### (2) 家畜人工授精所

家畜改良増殖法に基づき、家畜人工授精所の開設を2件、許可証の書換を1件実施した。家畜人工授精所の運営状況の調査を実施した。

### 2 にいがた和牛レベルアップ推進事業

高品質で効率的なにいがた和牛の生産拡大のため、獣医師、畜産研究センターと協力して、下表のとおり、地域高能力牛保有の受精卵作出を行った。また、受精卵移植技術について技術者に情報提供を行った。

区分	件数	区分	件数
過剰排卵処置	0	受精卵の採取	0
受精卵の凍結	8	受精卵の移植	0

### 3 種畜検査

家畜の改良を計画的に行うため、家畜改良増殖法に基づいた種畜検査を実施した。

畜種	市町村	対象戸数	検査頭数	検査結果
豚	津南町	1	6頭	全頭合格
	魚沼市	1	39頭	全頭合格

## VII 一般畜産指導

### 1 畜産経営技術高度診断指導

(公社)新潟県畜産協会が実施する経営診断に非常勤畜産コンサルタントとして、受診対象農家に対して助言指導を実施した。

対象	戸数	市町村
養豚経営	2	津南町、十日町市

### 2 地域養豚生産性向上対策

養豚農場で生産性を阻害し、大きな経済的損失をもたらす豚繁殖・呼吸障害症候群 (PRRS) ウイルス (野外株) の撲滅と清浄性を確認するため必要な検査、指導を実施した。

対象戸数	検査回数 (延べ)	抗体検査		遺伝子検査	
		検査数	陽性数	検査数	陽性数
24	31	277	8	22	0*

※ 抗体陽性の2農場(R5検査でワクチン株陽性農場)について遺伝子検査を実施した。

### 3 家畜共進会出品家畜等指導

地域の畜産の健全な発展を図るため開催される各種共進会において、衛生指導及び審査等に協力した。

- ・ 令和6年6月21日 第47回津南町肉豚枝肉共励会 (長岡市)
- ・ 令和6年9月13日 第22回JA魚沼十日町養豚部会枝肉共進会 (長岡市)
- ・ 令和6年9月27日 令和6年度新潟県子牛共進会 (長岡市)

### 4 農業共済組合事業に対する協力及び家畜衛生指導

農業共済組合が実施した家畜特定損害防止事業及び家畜検診車の巡回検査によるビタミンA検査 (肉用牛農家5戸)、検診車検査 (酪農家3戸) の検査成績から飼養衛生管理の助言・指導を行った。

## VIII 調査研究（令和6年度新潟県家畜保健衛生業績発表会演題）

### 酪農場で発生した *Salmonella Saintpaul* による牛サルモネラ症

五十嵐紗代子 佐藤香代子

#### 【発生概要】

令和6年10月中旬、対尻タイストール60頭規模の酪農場で搾乳牛の集団下痢、発熱、食欲低下及び泌乳量減少を認め、30日に搾乳牛1頭が死亡。31日に4頭が水様性下痢、うち2頭が起立困難を呈していたことから、血液、糞便及び飼料（TMR及びWCS）の採材を行うとともに、死亡牛1頭の解剖を実施。また、11月13日に発熱、下痢を呈し死亡した牛の糞便検査を実施。

#### 【血液及び糞便検査等】

10月31日4頭中2頭の血液及び4頭全頭の糞便から *Salmonella Saintpaul*（以下SS）を分離し、うち2頭は予後不良で廃用。また、11月13日死亡牛1頭の糞便からSSを分離。一方、飼料から菌分離陰性。

#### 【死亡牛の病性鑑定】

解剖所見では全身に出血巣を認め、特に肺、腸管及び大網で顕著。腸管漿膜面及び粘膜面の赤色化を認め、腸内容物は少なく黄色水様。主要臓器の細菌検査で、肺からSSを分離。病理組織学的検査で腸管粘膜及びリンパ節に広範な壊死が認められ、免疫組織化学染色の結果から病変はO4群陽性菌によるものと同定。以上の結果からSSによる牛サルモネラ症と診断。

#### 【対策】

病性判定後直ちに飼養者と臨床獣医師を交え検討会を開催し、以下の対策と効果判定のためのモニタリング実施を決定。発症牛及び排菌牛への有効薬剤投与と飼養牛へのワクチン接種及び生菌剤投与。牛舎入口及び通路に逆性せっけんと水酸化カルシウム混合液の踏み込み消毒槽設置。飼槽、ません棒、ウォーターカップの塩素系消毒薬による頻回拭き取り消毒、飼槽の塩素系消毒薬の散布を毎日実施。野生動物対策として、畜舎周囲に新たに電気柵設置。

#### 【モニタリング検査】

11月25日に搾乳牛全頭（47頭）の糞便及び床、飼槽等の環境15検体についてサルモネラ分離検査を実施し、糞便8検体、環境1検体陽性。12月16日に再検査を行い糞便2検体陽性、環境全検体陰性。1月14日に3回目の検査を実施し、糞便1検体陽性、環境全検体陰性。1月時点臨床症状なし。

#### 【まとめ】

本症例は搾乳牛4頭が廃用となり既知の報告より重篤な症状を呈し被害額は大きかったが、清掃消毒をルーチン化し、3か月後には環境から菌分離陰性。再発防止のために衛生管理の徹底を継続。

## <参考資料>

### 家畜衛生関係手数料

#### 1 新潟県手数料条例に基づく関係手数料

(令和7年4月1日現在)

##### (1) 家畜検査手数料

区分		対象家畜	手数料単価	
ア 検査	結核	牛	350円	
	ブルセラ症	牛	350円	
	腐そ病	蜜蜂	170円	
	ピロプラズマ症	牛	470円	
	ヨーネ病	牛	月齢6か月未満	520円
			月齢6か月以上	700円
	家きんサルモネラ症 (ひな白痢)	鶏	70円	
	伝達性海綿状脳症	牛	焼却しない場合:6,000円	
牛		焼却する場合:35,000円		
オーエスキー病	豚	800円		
イ 注射	豚熱	豚及びいのしし	330円	
ウ 証明書	家畜の検査、注射、薬浴、投薬証明書の交付		300円	

##### (2) 動物用医薬品・高度管理医療機器販売業関係手数料

区分	手数料単価
販売業等許可申請	29,000円
販売業等許可更新申請	12,200円
販売従事登録申請	7,600円
販売業等許可証書換え交付	2,200円
販売業等許可証再交付	3,100円

##### (3) 家畜人工授精関係手数料

区分	手数料単価	
家畜人工授精師免許申請	1,800円	
家畜人工授精師免許証書換え交付	1,700円	
家畜人工授精師免許証再交付	1,700円	
家畜人工授精所開設許可申請	5,700円	
家畜人工授精所開設許可書換え交付	1,700円	
家畜人工授精所開設許可証再交付	1,700円	
牛受精卵移植 手数料	過剰排卵処置	15,000円
	受精卵の採取	13,300円
	受精卵の凍結保存	8,700円
	受精卵の移植	8,600円

#### 2 新潟県家畜保健衛生所の家畜衛生検査手数料規則に基づく手数料

(1) 家畜共済点数表(A欄)の点数に10円を乗じた額

(2) 知事認定獣医師が注射する豚熱予防液の管理にかかる手数料の額は1件につき60円

(3) (1)の検査手数料により難しい検査の手数料

区分	手数料単価
月齢が6か月以上の牛のヨーネ病検査	770円
豚のオーエスキー病検査	750円
サルモネラ検査	4,200円
病原性大腸菌O-157検査	4,200円
豚丹毒検査	290円
遺伝子検査	2,000円
衛生検査証明書の交付	300円

管内家畜飼養状況(令和7年2月1日現在)

	乳用牛					肉用牛					豚					採卵鶏(種鶏、雛を除く)					ブロイラー				
	飼養戸数	対前年比%	飼養頭数	対前年比%	一戸当たり頭数	飼養戸数	対前年比%	飼養頭数	対前年比%	一戸当たり頭数	飼養戸数	対前年比%	飼養頭数	対前年比%	一戸当たり頭数	飼養戸数	対前年比%	飼養頭数	対前年比%	一戸当たり頭数	飼養戸数	対前年比%	飼養羽数	対前年比%	一戸当たり羽数
中越家保管内	28	82.4	966	70.8	34.5	30	93.8	2,218	97.7	73.9	25	92.6	31,752	87.2	1,348	2	100.0	161,506	95.7	80,753	2	100.0	162,806	100.6	81,403
長岡市	9	81.8	328	100.0	36.4	14	100.0	1,542	96.0	110.1	4	100.0	4,588	107.3	1,147	-	-	-	-	-	1	100.0	×	×	×
出雲崎町	1	100.0	X	X	×	-	-	-	-	-	1	100.0	X	X	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小千谷市	1	50.0	X	X	×	4	100.0	232	96.7	58.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
柏崎市	1	100.0	X	X	×	2	66.7	13	39.4	6.5	-	-	-	-	-	2	100.0	161,506	95.7	80,753	1	100.0	×	×	×
刈羽村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
魚沼市	9	100.0	339	100.6	37.7	-	-	-	-	-	3	75.0	2,438	74.6	1,444	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南魚沼市	3	100.0	198	97.5	66.0	4	80.0	293	95.1	73.3	1	100.0	X	X	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
湯沢町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
十日町市	1	33.3	X	X	×	3	100.0	59	92.2	19.7	6	100.0	10,036	101.9	1,673	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
津南町	3	75.0	101	43.3	33.7	3	100.0	79	91.9	26.3	10	100.0	12,882	101.8	1,288	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\*採卵鶏とブロイラーは10,000羽以上の養鶏場のみ記載  
 ×農場数が2戸以下の場合には頭羽数を掲載しない



